



第十一回

おきたま語り

フェスティバル

六月十八日(日)おきたま語り部の会(井田操子会長)主催の「第十一回おきたま語りフェスティバル」が夕鶴の里語り部ホールで開催されました。



夕鶴の里資料館報

令和5年7月10日

第 151号

発行 夕鶴の里

TEL 47-5800

昨年度までは新型コロナウイルス感染症防止の為、規模を縮小して「おきたま語り部交流会」として開催しておりましたが、本年度は四年ぶりに観客のいる「おきたま語りフェスティバル」として開催することができました。



民話会ゆうづる 高橋 大吉さん
「真心の一文銭」

子どもの語りでは、高島町立高島小学校六年生の児童三名と長井市立西根小学校四年生児童一名の語りが披露されました。



高島小学校6年 息彩 葉さん
「置賜のビッキと村山のビッキ」



高島小学校6年 尾形 友彩さん
「弘法さまのよごれた手ぬぐい」

寸劇「毒まんじゅう」では、平野昔語りの会の熱演に会場は大いに盛り上がりました。



平野昔語りの会
寸劇「毒まんじゅう」

第11回 おきたま 語りフェスティバル



話部「ゆるり座」伊藤 恵子さん
「みのわのなげき」会場は大盛況でした。

「おきたま語りフェスティバル」は置賜地方の各地域に伝わる民話を地元の言葉で味わうことができたイベントになりました。また、子どもの達りも見事で民話の伝承が次世代へ継承されていることを感じました。

尚、この模様はNCV様にご協力いただき収録し、ビッグスペシャルとして後日放映されます。是非ご覧ください。



「さるのおしりはなぜ赤い」を鑑賞。



金蔵の家の仕掛けに興味津々でした。

六月十三日(火)に梨郷児童館様にご来館されました。皆さん資料館の展示や昔のあそびを体験していかれました。是非、またお越しください。

梨郷児童館来館



7月6日



6月13日

四月に種を蒔いた紅花は六月十三日に小さな蕾を付けました。四月に種を蒔いた紅花は六月十三日に小さな蕾を付けました。四月に種を蒔いた紅花は六月十三日に小さな蕾を付けました。四月に種を蒔いた紅花は六月十三日に小さな蕾を付けました。

紅花栽培日記

昔のあそび

～紅花の生花染めをしよう～

- ◆日時 7月22日(土) 午前10時～
- ◆場所 夕鶴の里
- ◆内容 紅花の花を使って染めもの体験をします。
- ◆参加料 100円
- ◆定員 10名
- ◆申込・問合せ 夕鶴の里 (☎47-5800)

